



ノースウイング バックナンバーより ②

過去のノースウイングの記事を基に、活動内容を振り返ります。

詳しくは、北区ホームページや札幌市の図書館の電子書籍からバックナンバーを読んでみてください。

※団体名や肩書は掲載当時のものです



北区HP



札幌市の図書館

2012年 発行 P53-54

19号

篠路チョボラ会

会長 ^{かわさき よしお} 川崎 義雄さん

篠路チョボラ会は2010年に創立されました。掲載時の活動内容には、旧琴似川の河川敷を公園化する取組(川の掃除や植樹)、レクリエーションや健康づくりを通じた会員同士のコミュニケーション活動、地域の絆を大切にしたいネットワークづくりなどがあげられていました。



旧琴似川の植樹の手入れ

2019年 発行 P33-35

23号

拓北・あいの里連合町内会 まちづくり委員会

事務局長 ^{わかやま ようじ} 若山 洋司さん

2018年度の取り組みは、4月、JR沿線の樹木の見回り。7月、あいの里北公園の下枝払いとベンチ塗装。9月、町内会の樹木の観察会。改めて、見通しが悪い箇所が多いことを認識。10月、樹木の密生が顕著な5カ所で試験的に間伐を実施。樹木の管理がしっかり行われました。



1台ずつベンチを塗装し直します

2019年 発行 P31-32

23号

ポプラ通りを守る会

会長 ^{きむら よしたろう} 木村 美太郎さん

特定外来生物の「オオハングソンソウ」を、2018年から3年計画で駆除する大作戦が行われました。毎年30～40人で行ったものを広く参加者を募ったところ、集まったのは140人。遊歩道内と道路側に分かれ、繁殖している「オオハングソンソウ」を根から抜く作業を実施しました。



駆除作戦の作業風景

2008年 発行 P57-62

15号

NPO 法人カラカネイトンボを守る会

理事 ^{さとう みさこ} 佐藤 美佐子さん

地元の自然に着目して研究活動が続けてきた札幌拓北高校理科研究部の活動に感銘を受け、1997年に設立。篠路福移湿原の保全を目指して、この湿原に生息するカラカネイトンボにちなんで命名。その取組が認められ2007年第10回「川の日ワークショップin東京大会」でグランプリを受賞。



「カラカネイトンボを守る会」の管理地第1号

